

! 自己PR作成のポイント

1. 自己PRと志望動機の重要性

採用する側が面接の質問や履歴書を通して最も知りたいのは、
「あなたはどんな人間で」「なぜわが業界・わが社を志望しているのか」であり、自己分析の結果を聞くことだといえます。したがって、自己分析にもとづいて自己PRと志望動機の内容がしっかりと作られていること、またわかりやすく表現できることが選ばれる際の最大のポイントだといえます。ここでは自己PR作成のポイントを見ていきましょう。(※志望動機についてはP20を参照)

2. 自己PR作成 7つのポイント

★ポイント1「作成の素材は、すべて自己分析の結果からもってくる」

自己分析の過程から発見・再確認した「自分の長所、他人に負けない能力」をまず挙げ、その長所が発揮されたエピソードや培われた下地を、その裏づけとしてセットにしてまとめます。

★ポイント2「強調すべきセールスポイントを1～2点に絞る」

つい、あれもこれもと長所を並べ立ててしまいそうですが、自己PRで求められているのは、「あなたの一番のウリ」の部分。あまりに多いと焦点がぼやけてしまうので注意しましょう。

★ポイント3「抽象的な言葉の多用は避ける」

社交的、リーダーシップがある、明るい、責任感が強い、行動力がある、積極的、といったような抽象的な言葉を挙げても、他学生との差別化にはなりません。そうした言葉を使う場合には、その言葉を証明するようなエピソードをつけましょう。自分がやったことを、体験談を盛り込みながら自分の言葉で語るのが、一番説得力があります。

★ポイント4「大切なのは、事実ではなくその経験から得たこと」

〇〇検定をとりました、〇〇の作品を作りました、と事実をアピールするのではなく、「なぜそれをやり、どのように工夫・努力し、その結果どんなことを得て、その得たものをどのように活かしているか」を説明しましょう。

★ポイント5「数パターンの自己PRを作成しておく」

「手短に自己PRしてください」と言われても、与えられた時間が30秒のときもあれば、1分、3分の場合もあります。そこで、3パターン程度、長さが違うものをあらかじめ用意しておきましょう。また、頭では分かっているけど、いざ話すとなると話せないことが多いので、必ずノートなどに整理しておきましょう。一度書いておけば、履歴書、面接、エントリーシートなど様々な場面で応用が利きます。30秒で100字程度が目安です。

★ポイント6「結論を先に言う」

相手に言いたいことがスッキリと伝わるように、結論から先に話しましょう。

例1)

「私は〇〇な人間です。
その理由としては・・・
(具体的なエピソード・体験)
ということで、私は〇〇な人間です。」

例2)

「私は〇〇を通して〇〇を学びました。
(具体的なエピソード・体験)
学んだことを、御社の〇〇なところで
活かしていきたいと思っています。」

このように、結論を先に言うことで、話に一貫性をもたせることができます。また、最後に「自分は〇〇な人間で、それを今後このように活かしていきたいと思っています」という風に未来語で語る事ができればいいことなしです。

★ポイント7「常に手直しして、ベストのものに作り変えておく」

自己PRは一度書いたら終わりというものではありません。何度も加筆修正して、自分のことをアピールするのにもっともふさわしいものに仕上げてください。また、あなたをまったく知らない人が見てもきちんと伝わるかどうか、先生に添削してもらいましょう。

■自己PR（初期）シート1

科 年 名前

<私のセールスポイント>

①自分の長所（強み）を挙げてみよう。

1.
2.
3.
4.
5.

この中から特に強調したいもの、強調できるものを選んでみよう。
これが私の長所です。

②その理由は？ またどこからその長所が育ったと思いますか。

③こんな場面で長所が発揮されました。

④仕事のこういう部分で、このように役立たせたいと思います。

印	評価	総 評

■自己PR（初期）シート2

科 年 名前

人生の夢、目標（将来にわたってやりたいこと）は何ですか。
この仕事を選ぶことで、その夢にどのように近づけるとおもいますか。
今後、社会とどのように関わっていきたいですか。
趣味、特技は何ですか。

業種、仕事を選ぶ際に重視することは何ですか。また、それはなぜですか。
性格的な、短所、長所を教えてください。また、どうしてそう思いますか。
短所は具体的にどのように改善していますか。
どのような社会人、職業人になりたいですか。

印	評価	総 評